

「見守れる円味のある暮らし」

プランC

ポイント

事業趣旨：若年世帯をターゲットとし、空き家率・高齢化が進んだAタイプ住戸の改修提案を行う。
設計趣旨：1世帯当たりの居住年数を延ばすため、将来性のあるプラン計画を行う。限られた空間・予算の中で、最大限の間取り・内装の改修を行う。

コンセプト

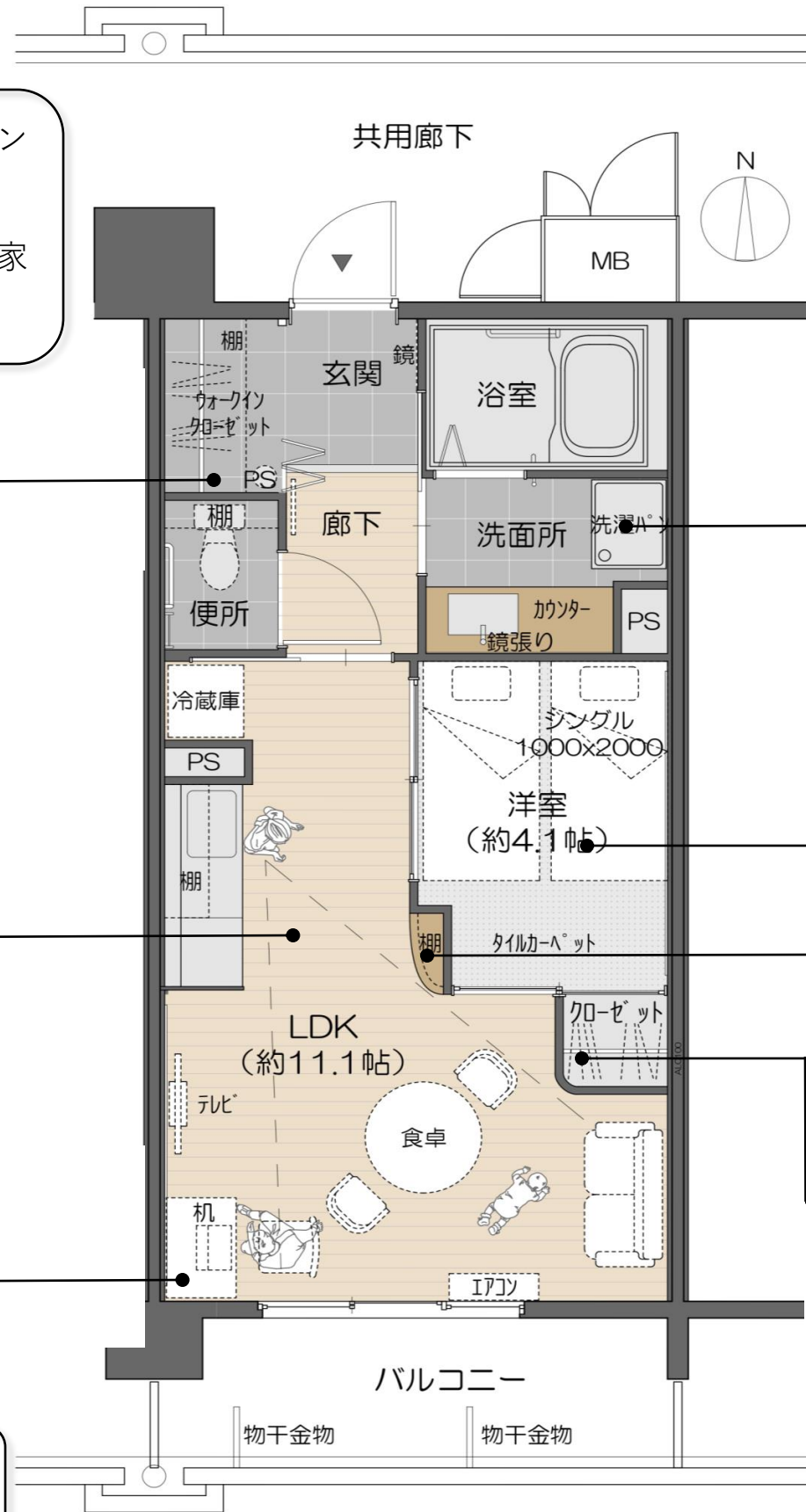
部屋の角に丸みを持たせることで、キッチンからリビング全体への視野が広がる。小さな子供が角にぶつかる心配も少なく、家庭として円味のある空間を演出。

玄関先の広いウォークインクローゼットで収納力をカバー。靴だけでなくコートやアウトドア用品も収納できる。土足でも素足でも利用できるように計画する。

ダイニングとリビングの扉をなくすことで、調理しながらでもリビングの様子を伺える。

家庭を見守りつつ、家庭のまるみとメリハリをつけてデスクワークが可能

タイプ：1LDK
対象世帯：夫婦世帯、夫婦＋子供1人世帯



防水バンを移動させ、カウンターの幅を拡大。一面鏡張りや大理石を使用し、気分も上がる洗面化粧台に。壁付け戸棚で収納力UP

寝室をシングルベッドとして、2方向の入り口を用意することで、生活リズムのずれがあっても起床就寝できる。タイルカーペットにすることで防音効果となる。

部屋の角を丸くすることで、キッチンからの視界をより広げ、や丸みのある空間を作ることができる。

従来のクローゼットを活かし、寝室の収納に。リビング側の壁も扉にすると、両面からの使用も可能に。

イメージ

洗面台



デスク



・ウォークインクローゼット



寝室



LDK



壁の角

